

「原発のない福島を！ 県民大集会」へのいわき市長メッセージ

本日、「原発のない福島を！ 県民大集会」の御盛会、誠におめでとうございます。

東日本大震災から、まもなく3年の月日が過ぎようとしておりますが、本市は、地震、津波に加えて、原子力災害が重なる前例のない複合災害に見舞われた浜通りの拠点都市であります。

そのため、一日も早い再生・復興を目指し、福島第一原発の事故収束と、福島県内の全ての原子力発電所の廃炉の決定を国や東京電力に対して強く求めているところであります。

加えて、除染の推進、内部被ばく検査体制の充実と、全国の皆様に本市の安全性を実感していただくための風評被害対策などを通し、「原子力災害を克服するとともに、再生可能エネルギーの導入を推進し、原子力発電に依存しない社会を目指す復興」の具現化に向けて、全力を挙げて取り組んでいるところであります。

このような中、本日、いわき市を含め3会場において、福島県民の皆様の思いを共有し、願いや要望を全国に発信することは、非常に有意義であり、本市も皆様とともに手を携え、「明るく元気ないいわき市」を創造すべく、全力で復興にまい進して参りたいと考えております。

結びに、皆様の思いの実現と、本日の集会が未来につながる素晴らしいものとなることを祈念いたしまして、メッセージといたします。

平成26年3月8日

いわき市長 清水 敏男